

～ 昨日の風 明日の風 ～

## 経営コンサルタント 独白録

[第152回] だから私は！しかし私は！（その1）



戸敷 進一

1956年生まれ、宮崎県出身の経営コンサルタントで、㈱経営改善支援センター（福岡市、URL: <https://sien.co.jp/>）代表取締役。業種を問わない「組織活性化」の専門家で、全国300社以上の企業の活性化を指導。全国の商工会議所や企業などからの依頼で講演活動もおこなう。明確で分かりやすい表現で驚くほど短期間で「組織」を変えるのが強み。また、帝国データバンクの契約コンサルタントとして九州各地の企業を中心に多くの実績を上げている。

2026年1月の米国によるベネズエラ攻撃、そしてイランへの攻撃により、国際緊張は一気に高まり、世界の風景は明らかに変わりました。一般的な石油不足は、すでにさまざまな分野に深刻な影響を与え始めています。

支援先の建設会社では発泡系の建材が手に入らなくなり、梱包資材系の会社ではビニールが不足しています。塗装会社ではシンナーの調達ができず、歯科医療の精密部材を製造している企業では、製品を収納する特殊なケースが入手できず、生産を中止したという話も耳にしました。

政府は必死に「石油の備蓄は十分にあり、ナフサも確保できている」と発信しています。しかし、経営の最前線の風景を見ていると、何やら背中が寒くなるような感覚を覚えます。

日本のメディアだけを見ていると分かりにくいのですが、今回の石油不足は各国に深刻な影響を与えています。

中東情勢の緊迫化による原油供給不安を受け、東南アジア各国では緊急のエネルギー消費抑制策（給油制限や省エネの呼びかけ）が実施されています。インドネシアでは強制的な在宅勤務令、ミャンマーでは自家用車の使用制限、韓国では公共交通機関の利用推進、街路灯の消灯、シャワー時間の短縮などが実施されています。

数日前の海外ニュースによれば、欧州では

ジェット燃料不足のため、5月以降の航空機減便が予定されているとのことでした。こうした各国のエネルギー制限は、かつての「コロナ禍」に匹敵するほどの影響を、すでに与え始めています。

### 戦後80年の終焉と始まり

2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻以降、世界の枠組みは大きく変わりました。国際紛争において国際連合は、もはや十分に機能していません。ベネズエラ侵攻やイラン攻撃に対しても国連は無力です。中国によるアジアでの威圧行動や、チベット・ウイグル問題についても同様でしょう。

NATO（北大西洋条約機構）も、トランプ大統領の脅しの前では身動きが取れなくなりました。拳げ句の果てに、米国は今年1月、66の国際機関から脱退しました。

世界の大国、そして常任理事国である米国・ロシア・中国を前にして、かつての穏やかな「お花畑的な世界観」は、もはや通用しません。力を持つ者が他を支配する、19世紀型の時代が再び訪れています。

1945年、第二次世界大戦の終結から80年。いま私たちは、「何かが終わり、何かが始まる」その瞬間に立ち会っているのです。

（つづく）